

**令和5年度**

**看護学研究科（博士前期課程）**

**問題・出題の意図・解答のポイント**

令和5年1月21日

高知県立大学大学院

## 小論文

問 看護実践における「気づき」の意義と限界について、あなたの考えを述べてください。

(100点)

### <出題の意図>

看護実践における「気づき」は、物事の本質を捉える認識能力であり、臨床判断に不可欠な基本的概念として位置づけられている。この設問により、看護実践における「気づき」に関する知識、看護実践に対する洞察力、看護への姿勢、論理性と抽象的思考力をみる。

### <解答のポイント>

看護実践における「気づき」の意義として、対象の独自性に目を向けることができる、瞬時の状況を把握できる、様態の変化を予測したアセスメントができるなど、「気づき」の限界として、批判的思考過程が伴わなければ対象の理解が深まらない、エビデンスに基づく実践につながらない、知識・経験不足により適切な判断につながらないなど、自分の考えが論理的に述べられていること。

## 英語 高度実践看護師コース・研究コース

次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(100点)

出典：Katherine Pollard, Julie Bugler and Sally Hayes: 7. Interprofessional working, Derek Sellman and Paul Snelling eds.: Becoming a Nurse Fundamentals of professional practice for nursing, Second edition, Routledge, p.178, 2017. より抜粋

### <出題の意図>

大学院博士前期課程において必要となる基礎的な英文読解力と、設問の内容を的確に把握し解答する力をみる。

問1 筆者は、多職種連携についてどのように述べていますか、要約してください。

(50点)

### <解答のポイント>

以下の内容を含んでいること。

- ・本質的な特徴はコラボレーション（共同）である
- ・ケアの提供に専門家と非専門家の両方が関わる共同作業や共同実践という用語が用いられる
- ・単にある個人のケアに関わる他の専門家と接触する、ということ以上のものである
- ・一人のクライアントのすべてのニーズを一人の専門家や実践家が満たすことはできない、ということ認識することが必要である
- ・看護師は患者へのケアの断片化を最小限にするために、共同作業の方法を促進するスキルと態度を開発する必要がある  
など

問2 多職種連携において看護師にはどのようなスキルや態度が求められるか、英文の内容も参考にして、あなたの考えを述べてください。

(50点)

### <解答のポイント>

提示された英文も参考にして、自らの考えを述べていること。

## 英語 実践リーダーコース

次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(50点)

出典: Eduardo Salas, Terry L. Dickinson, Sharolyn A. Converse and Scott I. Tannenbaum: 1. Toward an Understanding of Team Performance and Training, Robert W. Swezey, Eduardo Salas eds.: Teams: Their training and performance, Ablex Publishing Corporation, pp. 3-4, 1992. より抜粋

### <出題の意図>

大学院博士前期課程において必要となる基礎的な英文読解力と、設問の内容を的確に把握し解答する力をみる。

問1 下線部を日本語に訳してください。

(20点)

### <解答のポイント>

文章を正しく捉えて、日本語に訳していること。

問2 チームの質は何によって評価したらよいのか、理由とともにあなたの考えを述べてください。

(30点)

### <解答のポイント>

設問に対して、自らの考えを述べていること。

## 専門科目 災害・国際看護学

問1 大規模災害時に起こりうる「情報の非対称性」の例を一つあげ、その要因および人々の心身の健康にもたらす影響について述べてください。

(100点)

### <出題の意図>

大規模災害時に起こりうる「情報の非対称性」は迅速で効率的な支援活動に影響を与えるために重要である。この設問により大規模災害時に起こりうる被災地内外や支援者・被支援者間の「情報の非対称性」に関する理解度、災害看護に関する専門的知識、分析力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

大規模災害時に起こりうる「情報の非対称性」の例として、行政の持つ要援護者の情報は、近隣住民に共有されないという、行政と近隣住民の要援護者に関する情報の非対称性や、被災者一人ひとりの健康状態を行政は把握できないという、個人の健康状態に関する行政と被災者の情報の非対称性、などを一つあげ、その要因および人々の心身の健康にもたらす影響について述べていること。

問2 人道支援とは、紛争の被害者や自然災害の被災者の生命、尊厳、安全を確保するために、援助物資やサービス等を提供する行為の総称です。国際的に、人道支援の基本原則は、(1) 人道原則、(2) 公平原則、(3) 中立原則、(4) 独立原則の4つが主であり、多くの組織や団体は、これらの基本原則を尊重しつつ人道支援を実施しています。

あなたが難民キャンプで難民支援活動に従事する看護師であると仮定してください。ある日、キャンプに難民を迫害する「迫害の主体」側の人々が重症で運ばれてきました。人道原則に基づき受け入れを決定するにあたり課題となることを看護の視点から説明してください。

(100点)

### <出題の意図>

人道支援の基本原則を理解し、遵守することは、国際的な看護活動を実施する際に重要である。この設問により国際的な看護活動、人道支援活動に関する専門的知識、分析

力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

「迫害の主体」であっても、人道原則を根拠として支援の対象となりうる一方、本来の支援対象である難民からは、公平性、中立性、独立性に関する疑義が生じる可能性がある。「迫害の主体」にキャンプ内で遭遇する危険を難民が想起して PTSD が再燃する、医療従事者に対する信頼関係の喪失によって治療協力が得られなくなる、などの課題が生じる可能性があることを看護の視点から説明していること。

## 専門科目 地域保健学

【問1は必答問題です。問2、問3は選択問題です。1つを選択して答えてください。】

問1 ライフスキルについて、以下の1)、2)に答えてください。

(120点)

- 1) ライフスキルについて説明し、地域保健もしくは学校保健におけるこの概念の重要性について述べてください。
- 2) 地域保健もしくは学校保健において、対象者のライフスキルを高める支援について、事例を1つとりあげて、具体的に述べてください。

### <出題の意図>

ライフスキルを高めることは、日常生活で生じる様々な課題に対して、主体的かつ効果的に対処していくうえで重要である。この設問により、ライフスキルに関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

- 問1-1) ライフスキルについて、定義や構成要素等の観点から説明していること。ライフスキルの重要性について、主体的な健康生活の実現につながる、健康課題に自ら効果的に対処できるようになる、社会集団の中でのより良い人間関係の形成を促す、などについて述べていること。
- 問1-2) 対象者のライフスキルを高める支援について、事例を1つとりあげて、健康教育の推進、ソーシャル・サポートの獲得への支援、自尊心を高める支援、などについて具体的に述べていること。

問2 一人一人の住民が感染症対策としての予防的行動を継続・促進することを支援する活動方法について、ヘルスプロモーションの考え方を基盤として、具体的に述べてください。

(80点)

### <出題の意図>

現在の健康課題である感染症対策として、人々が予防的行動を継続・促進することが必要であり、ヘルスプロモーションの考え方を基盤とした活動方法は重要な支援である。この設問により、一人一人の住民が感染症対策としての予防的行動を継続・促進するこ

とを支援する活動方法に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

ヘルスプロモーションの考え方を基盤とした感染症対策としての予防的行動を継続・促進することを支援する活動方法として、リスクに関する適切な情報提供や予防活動に関する教育を行う、その人が生活する地域の状況に応じた具体的な予防的行動を明確にして地域生活の場に浸透させる、保健サービスの提供体制や内容を刷新する、などについて具体的に述べていること。

問3 小学校2年生のAさんは、もともと人とのかわりが苦手で、9月ごろから「頭が痛い」、「お腹が痛い」と言って頻繁に保健室に来るようになりました。徐々に登校をしづり始め、母親が学校まで送って行っても教室に入れなくなり、担任が家庭訪問すると「保健室ならいい」と保健室登校を始めました。保健室登校開始時に、養護教諭としてどのような支援が求められるか、2つとりあげて、根拠とともに述べてください。

(80点)

<出題の意図>

保健室登校開始において、養護教諭は職務の特質や保健室の機能を生かして支援を行うことが重要である。この設問により、保健室登校開始時の養護教諭の支援に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

保健室登校開始時の養護教諭の支援として、子どもが安心していことができる保健室の場を整える、学級担任と連携しながら得意なことに取り組む機会をつくり自己肯定感を高める、保護者と情報共有しながら信頼関係を形成する、などについて根拠とともに具体的に述べていること。